

天沼小だより

文責

校長 大里 忠弘



1学期が終わり、夏休みが始まります

本日、7月31日、例年であれば既に夏休み真っ最中。新型コロナウイルスの影響で、1学期が本日まで長引き、明日から夏休みとなります。コロナへの感染予防対策を講じた、新しい生活様式という、制限の多い、不自由な毎日でしたが、子どもたちは大変良く、新しい決まりを守り、健康に過ごしてくれました。心も身体も、学習面も大きく成長しました。その姿が、本日お渡しした通知表に記されています。子どもたちの1学期の頑張りを大いに認めてあげてください。



さて、明日からの夏休み。計画を立て、有意義に規則正しい生活を送れるよう、家族でのご支援とご協力をお願いします。

☆規則正しく生活し、健康で安全な生活を心がけましょう

毎朝、規則正しく起床し、涼しい時間帯に適度な運動をするなど、進んで体を動かすよう励ましてください。気温・湿度ともに高い時季ですので、水分の補給、食事、睡眠をしっかりと、熱中症等体調を崩さぬよう、健康管理をお願いします。外出中、外出後の手洗いの励行、必要な場面でのマスクの着用等、新型コロナウイルスへの警戒も怠らないようお願いします。また、思わぬ事件や事故に巻き込まれないよう、安全への配慮もお願いします。

☆目標をもって過ごしましょう

夏休み中、新しく挑戦すること、毎日続けてみようと思うこと、何か決めてみましょう。自分で決めたことを、毎日続けることができれば、最後には大きな自信になります。この夏「これに挑戦するぞ」「これを続けるぞ」と目標を立て、それらを継続・達成できるよう、励ましや助言をお願いします。大きな目標は必要ありません。大切なのは、「続ける」ということ。小さな一歩でも、歩き続ければ前に進みます。

☆親子のふれあいをこころがけましょう

家庭での役割をもたせ、家族の一員としての自覚を高めていただきたいと思います。テレビ、ゲーム、SNSを控え、将来の夢を聞いたり、ご両親の昔のことを聞かせたりして、一緒に活動や会話を心がけてみてください。いろいろな機会を通して親子のふれあいを深めましょう。

◇心配なことや気になることがあれば、学校に連絡してください◇

夏休み中に、担任との面談の機会を設けましたが、それ以外に、心配なことや緊急な場合には、学校にご連絡ください。担任や他職員が対応します。また、必要に応じて担任から連絡をとることもあります。夏休み中も、児童の生活は大切な毎日です。ご家庭と学校との連携を取り合っていきましょう。

【学校閉庁日】8月11日(火)から17日(金)の期間は、学校閉庁日のため教職員が不在になります。緊急を要する場合は、教育委員会学校教育課(電話 46-1111 内線 688)まで連絡をお願いします。

終業式 校長の話

私たちは今、新型コロナウイルスと闘っています。病気になってしまった人は病院で闘っています。病院では、お医者さんたちが必死に闘っています。新しい薬を開発しようと、寝る間も惜しんで研究している人もいます。今までのようにお客さんが来なくなったお店でも、仕事を続けようと必死に頑張っている人もいます。

天沼小学校でも、絶対にコロナウイルスを入れないように、先生たちが毎日消毒をしています。みなさんも、しっかり手を洗い、マスクをして、ソーシャルディスタンスを守り、コロナウイルスに罹らないように気をつけています。

旅行やお出かけも自由にできないなど、今まで普通にできていたことができなくなり、我慢が多くなりました。

1学期、皆さんもその我慢をしっかりと、コロナウイルスにやられることなくよく頑張りました。

明日からの夏休み、3週間です。長いのでしょうか、短いのでしょうか。感じ方は人それぞれでしょう。でも、2学期が始まる時、皆さん一人一人が「いい夏休みだった」と振り返られるといいですね。

充実した夏休みにするために、「時間を大切にしましょう」などと言われます。時間を大切にすると、どういうことでしょうか。

今は昔と違って、自動車や電車、飛行機などで、はやく、遠くまで行くことができます。電話やインターネットのおかげで、これもはやく、一度にたくさんの情報を手に入れることができます。何をやるにも、はやくできるようになり、時間を節約しています。

大人は、節約した時間を使って余計に働いてお金を儲けます。その金で新しい機械を買って、ますます時間を節約します。節約した時間は、どこかにたまってゆっくり使えるのでしょうか。

自動で掃除してくれる掃除機。洗濯から乾燥まで自動にしてくれる洗濯機。便利な機械ができたおかげで、私たちがゆっくりできる時間が増えたかということ、そんなことはなく、私たちの生活はますます忙しくなっています。

時間を大切にすると、どういうことでしょうか。短い時間に、たくさんのことをいろいろとやることなのではないでしょうか。

ドイツに「魔法使いの弟子」という昔話があります。魔法使いの弟子になったフンボルトは覚えた魔法で、ほうきに掃除や水くみをさせることにしました。自分でやるのが面倒くさかったのです。魔法にかかったほうきは、せっせと井戸から水をくみ上げます。ところが、フンボルトは魔法の解き方を習っていませんでした。ほうきは水をくみ上げ続け、部屋は水浸しになってしまいました。

私たちの周りにある科学技術は魔法のようなものです。昔の技術は、とても長い時間をかけて、いろいろ試して、失敗を繰り返し、問題点を解決して、ゆっくりと進歩してきました。そしていろいろな便利な機械が揃ってきました。世の中が便利になればなるほど、もっと便利になってほしいと願うようになり、速ければ速いほど良いものと考えようになりました。ゆっくりのんびりなんて言ってもらえない。次々と新しいものが欲しい。早く知りたい。早く行きたい。そして忙しい、忙しいと文句を言います。

新しいもの買っては、ゴミを捨てます。今、地球は人の作ったゴミでいっぱいになっています。どうやって解くのかわからない魔法をかけ続けているようなものです。

時間を大切にすると、あれもしなくちゃ、これももしなくちゃと、忙しく動き回ることでしょうか。一つのことをゆっくりと時間をかけて、質の良いものを作ったり、ていねいに仕事をしたりすることも、時間の上手な使い方と言えるのではないのでしょうか。

夏休みの3週間、いろいろなことに挑戦して、経験を増やすのもよいでしょう。

ゆっくり、じっくりと取り組む何かをみつめてみるのもよいでしょう。

朝夕の涼しい時間に、庭で虫や鳥の声、風の音に耳を傾けるゆったりとした時間を過ごすなんていうのも、素敵な時間の使い方だと思います。

3週間後、元気な皆さんとまた会って、どんな時間の使い方ができたのか、聞かせもらいたいと思います。それでは皆さん、素敵な夏休みを過ごしてください。